

杉戸町

(1) 特色ある生涯学習の取組について

○すぎと町民大学

- ・住民との協働によるまちづくりを目指し、様々な学習プログラムの提供を通じながら町民の学習意欲に応えるとともに、町発展のための人材やまちづくりのリーダーとなる人材の育成を図っている。今年度は、直木賞作家である北村薫氏をはじめ、多彩な講師による講義や、「被災地に学ぶ」をテーマに福島県富岡町への視察を行う現地学習、体験学習など年間17回の講座を開催。6年目となる今年度より卒業生の再入学を可とした。
- ・事業PRのため、誰でも参加することができる“公開講座”を開催しており、平成30年度は「健康元気 杉戸の食と音のアンサンブル」を開催。

第一部 地産地商杉戸宿新グルメ紹介……杉戸農業高等学校食品研究同好会

第二部 吹奏楽の響き & 楽器の歴史……杉の子吹奏楽団

曲目：軍艦行進曲、アフリカンシンフォニー、士官候補生、
高校野球大会行進曲、上を向いて歩こう、川の流れのように

○杉戸町文化財歴史講演会

「戊辰戦争と杉戸周辺地域」をテーマに、町民大学と共催で東京大学史料編纂所准教授の箱石大氏の講演を開催。



すぎと町民大学での講義の様子



杉戸町文化財歴史講演会の様子

(2) 生涯学習活動の支援のための施策について

○杉戸町文化祭

- ・公民館を拠点に活動しているサークル団体や町民の学習等の成果を発表する機会を設け、町民芸術・文化の振興を図るとともに、地域のコミュニティを推進している。

(3) 家庭・地域の教育力の向上のための施策について

○町民パソコン講座

- ・パソコンを楽しみながら学ぶきっかけづくりとして、また難易度に応じたメニューを計画しながら、年間を通じて33の講座を実施している。

○まなびっちゃんすぎと塾

- ・住民の方が学習メニューの中から学びたいものを選んで申し込むと、指定された場所

へ講師が出向くという、出前形式の講習会で、講師は町職員編37コースと住民ボランティア編16コースで実施している。

○青少年健全育成連絡協議会公開講演会

・青少年健全育成連絡協議会は、青少年の健全育成を目的として教育機関関係者や民生委員、保護者、スポーツ少年団代表等により構成されている。事業の一つとして公開講演会を実施し、青少年に関する課題について啓発する機会としている。

演題：「ひきこもり・不登校のサインを見つけたら～家庭と周囲ができること～」

講師：埼玉県家庭教育アドバイザー 榎島 知子 氏

○子ども大学すぎとの開催

・日本工業大学や町内企業等と連携し、小学校4～6年生の児童を対象に、地域の専門家による講義や体験学習を実施し、知的好奇心を培い、学ぶ力・生きる力の向上と子供同士の交流の場を提供することを目的として、「子ども大学すぎと」を開催した。

4回実施 49名参加

○放課後子供教室（『わくわく教室』）の実施。（3か所実施）

・小学校の余裕教室や関連施設を活用し、勉強やスポーツ活動、地域住民との交流等を実施。地域の方々の参画を得て、異年齢集団や地域との交流の輪が広がっている。

・杉戸第二小学校（1～4年生。月・金の放課後）28回実施、参加児童数延902人

・杉戸第三小学校（1～6年生。月・水の放課後）24回実施、参加児童数延630人

・泉小学校（1～6年生。月の放課後）10回実施、参加児童数延249人

ものづくり、室内遊び、スポーツ・レクリエーション等を実施（29年度実績）

○子どもの読書活動の推進

・図書館事業での乳幼児とその保護者を対象とした「ブックスタート」の充実、保護者が気兼ねなく図書館を利用してもらうための「赤ちゃんタイム」の実施により、おはなし会への参加を促し、親子で本に親しむ機会とその充実を図っている。また、小学生を対象にした事業として、図書館を身近に感じてもらうため、閉館後のひと気が少ない静かな図書館でくつろぎながら読書をして図書館内に宿泊する「図書館お泊り会」や、夏休み最初の週の開館時間を7時とし、ラジオ体操や宿題、読書等を行うことで、生活や学習リズムを崩さないための企画である「朝活図書館」や、夏休み終盤に、宿題のラストスパートとして、広い机がある部屋を解放し工作や自由研究に取り組める「夏休み宿題がんばり隊」を実施した。



「子ども大学すぎと」での講座風景



「夏休み宿題がんばり隊」の様子